

インタビュー

LOMBY 株式会社
代表取締役 CEO

内山 智晴 氏

LOMBY 株式会社（ロンビ
ー、東京都品川区）は、
2022年4月に設立さ
れた企業で、独自の自動
配送ロボットを開発して
いる。スズキ株式会社（浜松市
南区）とも連携し、ロボ
ットによるラストワンマ
イル配送の実現に向けた
取り組みを加速させてい
る。今回、代表取締役 C
EO の内山智晴氏に話を
伺った。

24年度に配送ロボの商用導入目標



内山 東京都立大学の
南大沢キャンパスをはじ
め、これまでに様々な場
所で実証を行
い、三菱地所
（株）とは東京都
内でローカル 5G を利用
した走行試験も実施し
た。また、「ひろしまサ
ンドボックス」（広島県
全体を実証フィールドと
して AI・IoT を活用
した多様な実証実験を行
える環境を提供するプロ
ジェクト）などを通じて
広島県内で複数の実証を

行い、5月の
「G7 広島サ
ミット」にて、
国際メディア
センター内
における政府
広報展示ブ
ースにも機
体が展
示された。
——スズキとの連携に
ついて。
「LMBR1」を試
した。少子高
齢化社会が
加速するな
か、電動車
椅子やシニ
アカーの需
要が増加す
ることが見
込まれてお
り、機体部
品を共通化
することで
コストを低
減し、競争
力のある製
品の開発を
目指す。



夜間問わず 24 時間運行する
ことを目指した機種だ。
東京都立大学の南大沢キ
ャンパス内と南大沢駅周
辺で実証を進めており、
10 月ごろに量産試作モ
デルを発表予定だ。
——企業間連携につ
いて。
内山 当社はハードウ
ェアとソフトウェアの両
方

南大沢での公道実証の様子

自動車大手のスズキと開発で連携

ストワンマイル配送に
対応する移動型ロボットの
開発を進めている。天候
状況に左右されない走行
性能を有し、複雑なシス
テム連携を必要としない
ことが特徴だ。また、専
用の宅配ロッカーと配送
ロボットの自動連携によ
って積み降ろしを自動化
することもできる。
——これまでの取り組み
は。

——開発面での取り組み
は。
内山 完全自律走行型
の配送ロボット「LMBR
1」の開発を進めてい
る。LMBR1 と同じく
スズキの駆動部品をベ
ースに、センサーなどの搭
載量を増やし、ロボット
が状況を自ら判断し、昼
間

方自社で開発してお
り、先に述べたように駆
動部などはスズキと共同
開発しているが、今後の
量産に向けて様々な方
の協力が必要となる。生
産に関しても日本国内で
の生産体制を構築してい
きたいと考えており、機
体の組立や基板実装など

法により、24 年 4 月 1 日
からトラックドライバー
に適用される時間外労働
の上限規制によって生じ
る諸問題、いわゆる「物
流の 2024 年問題」を
見据え、配送ロボットへ
の関心が高まっており、
当社への問い合わせも増
えている。ただ、当社の
ようなスタートアップ企
業ではリソースも限られ
るため、現在は企業数を
絞って本格導入に向けた
実証を進めており、ま
ずは 24 年度に 20 台程度の規
模で全国複数拠点での商
用導入を目指す。実証を
進めている企業は 100
0 台規模の導入になる可
能性を秘めており、連携
を深化させながら配送ロ
ボットの社会実装ならび
に配送員の負担軽減に向
けた取り組みを加速して
いきたい。
（聞き手・副編集長 浮
島哲志）